

プレアボイド報告(重篤化回避報告)

NO	患者情報					副作用の発見者	担当薬剤師	情報発端	薬学的管理の種類	
	性別	年齢	職業	飲酒/1日	喫煙/1日					
1	女性	50歳		なし	なし	医師			副作用(肝障害)	
	経過									
	発現年月日	発見年月日	経過内容・転帰・後遺症等							
			H25.5.25 爪白癬の為テルフィナビン125mg開始 H25.6.22 do処方 肝機能検査未のため、処方医へ進言 H25.7.20 AST286,ALT288、γ-GTP1121の結果を受け服用中止 H25.8.3 AST306、ALT259 中止後も高いので大学病院へ転院、H26.2.12改善							
	被偽薬					併用薬				
	医薬品	1日量	投与経路	使用期間	使用目的	併用薬の薬歴	投与経路	1日量	使用期間	使用目的
	テルフィナビン125mg	1錠	経口	2か月	白癬	モーラステープL40				
【薬剤師のコメント】医師が肝障害の副作用についての認識がなかったので、肝機能検査の必要性を伝えた。										
【情報提供により回避出来た事由】										
NO	患者情報					副作用の発見者	担当薬剤師	情報発端	薬学的管理の種類	
	性別	年齢	職業	飲酒/1日	喫煙/1日					
2	男性	65歳					薬剤管理指導	患者の訴え	副作用(接触性皮膚炎)	
	経過									
	発現年月日	発見年月日	経過内容・転帰・後遺症等							
			モーラステープLが初回で処方されていたが、以前他の病院でモーラステープが処方され使用した際に、かぶれが生じた。 その訴えがあったため、今回は疑義照会にてモーラステープL→セクターローションへ変更となった。							
	被偽薬					併用薬				
	医薬品	1日量	投与経路	使用期間	使用目的	併用薬の薬歴	投与経路	1日量	使用期間	使用目的
	モーラステープL				肩の痛み					
【薬剤師のコメント】今回は患者の訴えにより、未然に回避できたが、お薬手帳を活用し、副作用を未然に防げるよう、患者にもお薬手帳持参を促した。										
【情報提供により回避出来た事由】患者の訴え										